

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第30週の発生動向

全数報告の感染症 (30週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核6例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：後天性免疫不全症候群1例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核	咳
			50歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
			70歳代	女	疑似症患者	胸水+
			90歳代	女	疑似症患者	痰
		都城	90歳代	男	肺結核	発熱、呼吸困難
		延岡	60歳代	男	肺結核	発熱、呼吸困難
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	無症候性キャリア	—
	梅毒	宮崎市	30歳代	女	早期顕症梅毒 (Ⅱ期)	丘疹性梅毒疹

定点把握の対象となる5類感染症

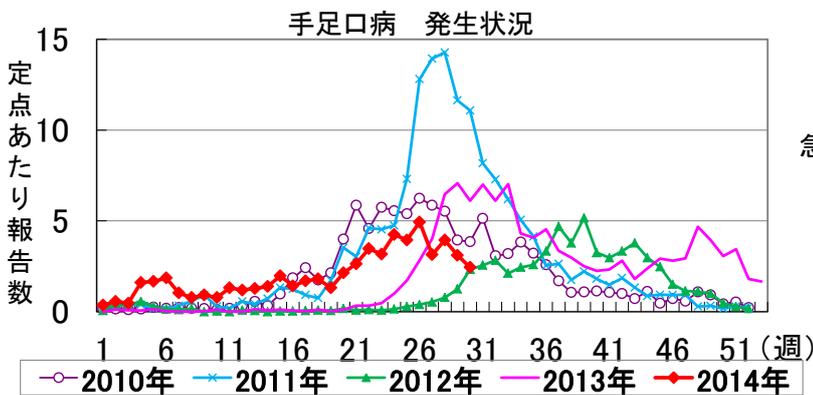
・定点医療機関からの報告総数は551人(定点あたり16.1)で、前週比77%と減少した。前週に比べ大きく増加した疾患はなかった。減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

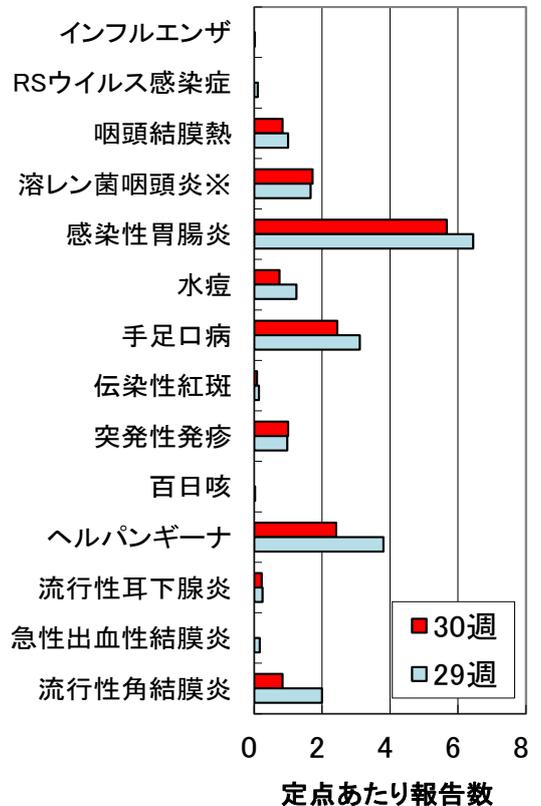
【手足口病】

・報告数は88人(2.4)で前週比79%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値* (5.0) の約0.5倍であった。小林(6.3)、日南(5.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳が全体の約7割を占めた。

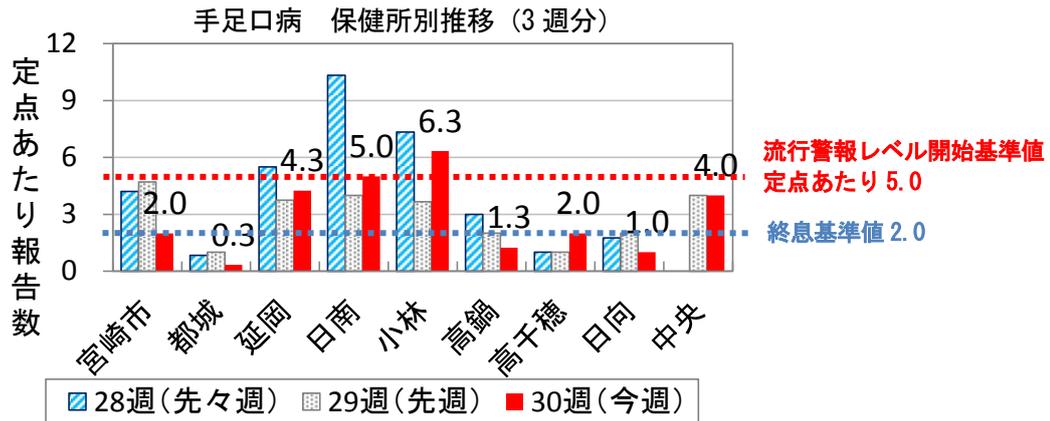
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



《前週との比較》

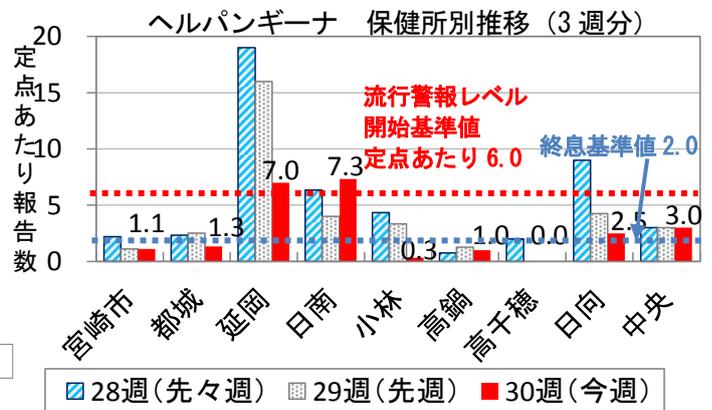
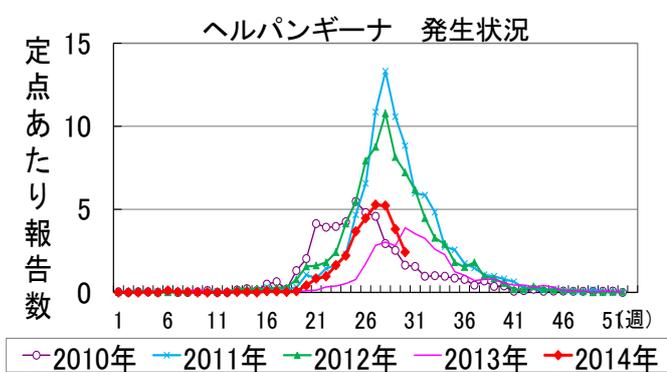


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



【ヘルパンギーナ】

・報告数は87人(2.4)で前週比64%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(4.8)の約0.5倍であった。日南(7.3)、延岡(7.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から2歳が全体の約7割を占めた。



★流行警報レベル開始基準値超過疾患★

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(7.0)
日南	手足口病(5.0)、ヘルパンギーナ(7.3)
小林	手足口病(6.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：高鍋保健所管内から1例報告された。患者は70歳代男性で群別不明。

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 26 年 7 月 28 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日
<i>S.galloyticus ssp pasteurianus</i>	0～4	男	2014.6.19	細菌性髄膜炎、発熱(40℃)	髄液	2014.7.15
<i>S.galloyticus ssp pasteurianus</i>	0～4	男	2014.6.19	細菌性髄膜炎、発熱(40℃)	血液	2014.7.15
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5～9	男	2014.7.4	百日咳疑、咳4日間	咽頭ぬぐい液	2014.7.10
<i>Salmonella</i> O4:i- 型別不能	50歳代	男	2014.7.7	サルモネラ胃腸炎、発熱(39.1℃)、低血圧、腎不全、下痢、嘔吐	便	2014.7.15
EHEC(O121:H19 VT2)	0～4	女	2014.7.7	腹痛、下痢、血便	便	2014.7.24
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	10歳代	男	2014.7.7	発熱(37.2℃)、下痢、腹痛	便	2014.7.14

○ 腹痛、下痢、血便を呈した女児の便から、腸管出血性大腸菌（EHEC）O121:H19,VT2 が検出された。2009 年～2013 年にかけて本県で分離された EHEC は全部で 300 株あるが、O121 は 8 株とそれほど多くはない。しかし、分離された O121 はいずれも VT2 を産生する株であり、症状の重篤化に注意する必要がある。2011 年～2012 年は生食用食肉の規制強化で全国的に EHEC 事例数は減少したが、2013 年以降再び増加傾向に転じている。一因としてユッケや生レバー以外の生肉の喫食が増えたことが考えられるが、リスクの有無を正しく理解する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
インフルエンザB型(山形系統)	9	女	2014.6.23	インフルエンザB、39.6℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.7.17
ライノウイルス	1	女	2014.6.6	不明熱、39.8℃、下痢	咽頭ぬぐい液	2014.7.23
エンテロウイルス71型	1	女	2014.5.22	ウイルス性発疹	咽頭ぬぐい液	2014.7.28
エンテロウイルス71型	4	男	2014.6.6	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.7.28
コクサッキーウイルスB5型	1ヶ月	男	2014.6.21	無菌性髄膜炎、38.0℃	咽頭ぬぐい液、便、髄液	2014.7.28

- インフルエンザ B 型と診断された小児からインフルエンザ B 型（山形系統）が検出された。
- 不明熱の小児からライノウイルスが検出された。
- ウイルス性発疹、手足口病と診断された小児からエンテロウイルス 71 型が検出された。エンテロウイルス 71 型を原因とする手足口病が流行している時には、その合併症として無菌性髄膜炎を起こすことがあるため注意が必要である。
- 無菌性髄膜炎と診断された乳児からコクサッキーウイルス B5 型が分離された。

📊 全国第 29 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 29 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	383 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	115 例	腸チフス	1 例	パラチフス	2 例
4類感染症	E 型肝炎	7 例	A 型肝炎	4 例	エキノкокクス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	2 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	3 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	38 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	2 例	急性脳炎	2 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	12 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	梅毒	18 例
	破傷風	2 例	風しん	3 例	麻しん	2 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 104%とやや増加した。今週増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

手足口病の報告数は 3,914 人(1.2) で、前週比 129%と増加した。福岡県(5.0)、大分県(4.1)、石川県(3.9)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 15,547 人(4.9)で、前週比 132%と増加した。東京都(9.9)、山梨県(8.6)、大阪府(8.4)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約6割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第30週(07月21日～07月27日)

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点あたり	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	4										
	定点あたり	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	36	30	9	2	3	7		6	1	2	
	定点あたり	1.00	0.83	0.90	0.33	0.75	2.33	0.00	1.50	1.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	60	62	11	2	15	3	2	3		25	1
	定点あたり	1.67	1.72	1.10	0.33	3.75	1.00	0.67	0.75	0.00	6.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	232	204	48	25	34	23	31	17	4	21	1
	定点あたり	6.44	5.67	4.80	4.17	8.50	7.67	10.33	4.25	4.00	5.25	1.00
水痘	報告数	45	27	3	5	9	1	4	1		4	
	定点あたり	1.25	0.75	0.30	0.83	2.25	0.33	1.33	0.25	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	112	88	20	2	17	15	19	5	2	4	4
	定点あたり	3.11	2.44	2.00	0.33	4.25	5.00	6.33	1.25	2.00	1.00	4.00
伝染性紅斑	報告数	5	3				3					
	定点あたり	0.14	0.08	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	35	36	14	6	8	1	5	1		1	
	定点あたり	0.97	1.00	1.40	1.00	2.00	0.33	1.67	0.25	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	137	87	11	8	28	22	1	4		10	3
	定点あたり	3.81	2.42	1.10	1.33	7.00	7.33	0.33	1.00	0.00	2.50	3.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	8	2	1	2	1				1	1
	定点あたり	0.25	0.22	0.20	0.17	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	5	5								
	定点あたり	2.00	0.83	1.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～30週)

2類感染症	結核	122例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	つつが虫病	5例	日本紅斑熱	4例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	7例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	6例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	7例(1)	破傷風	1例	風しん	1例
	麻しん	3例				

()内は今週届出分、再掲